

事業報告  
決算報告書

( 第 3 1 期 )

自 平成 2 1 年 4 月 1 日  
至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

株式会社 札幌花き地方卸売市場  
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

## 平成 21 年度 事業 報告

平成 21 年度（第 3 1 期）の当社の事業活動の概要をご報告いたします。

### 1 会社の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過およびその成果

平成 21 年度のわが国経済は、一昨年のリーマン・ショックに端を発した世界的な景気後退の中で深刻な事態に陥りましたが、その後、定額給付金、家電エコポイントなどの国内経済対策や海外経済の回復を背景に持ち直しの動きを見せているものの、失業率の悪化、公共投資の削減など、まだまだ先行き不透明な状況にあります。

一方、北海道経済におきましては、雇用・所得環境の悪化による個人消費の不振、企業の投資意欲の低迷、新型インフルエンザの影響による観光客減少などから景気持ち直しのテンポも緩慢で、引きつづき厳しい見通しとなっております。

このような状況の下で、平成 21 年度の当市場の取扱高は、2 年連続の対前年度割れから好転をみせ、数量で 1 億 2,178 万本（前年度 1 億 2,170 万本）、金額で 90 億 2,431 万円（前年度 90 億 2,668 万円）と、数量・金額ともほぼ前年並みで、消費低迷の中では堅調に推移いたしました。

なお、道内の花きを扱う卸売市場の取扱高は、153 億 3,000 万円で前年比 2.9% 減であり、当市場の取扱は 58% のシェアとなっております。

全国の花き市場の動向では、社団法人日本花き卸売市場協会の発表によると、全国の会員市場（卸売業者 142 社）の平成 21 年の取扱金額は、約 4,050 億円で、対前年比 3.6% 減となっており、切花類は近年横ばいないし微減傾向、また鉢物類におきましても減少傾向が見られます。

市場の運営におきましては、花き需要の減少傾向の中で、花きの振興、需要喚起の取り組みとして、引き続き北海道花き振興委員会に協力し、北海道花き品評会（切花・鉢物）を開催するとともに、切花生産団体と連携し大通公園のオータムフェストに初めて参加、道産切花を市民に PR いたしました。また、幼稚園児を対象とした「お花に親しむ交流会」は鉢花生産団体と協力して行ったほか、小学校 3・4 年生が生花店を模擬体験する「ミニさっぽろ」への出展など、市場関係者一体となった花育事業にも積極的に取り組みました。

さらに、市場関係事業者を対象に、市場制度や経済動向に関する研修会を開催しましたが、今後とも定期的の実施し市場関係職員の情報の共有や活性化を支援してまいります。

現在、国及び北海道では、卸売市場の整備を図る上での基本となる新たな卸売市場整備基本方針の改定、策定作業を進めております。当市場では、市場の果たすべき役割や市場の今後の振興策を検討するため、札幌市と共同で「花き流通活性化調査」を実施いたしました。国、北海道の新たな方針を見ながら、この調査に基づくアクションプランを策定し、市場活性化に向けた取り組みを進めていく予定でございます。

(2) 資金調達等についての状況

資金調達

当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。

設備投資

当期中に行った設備投資はありません

(3) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
売 上 高	147,878千円	142,155千円	133,795千円	133,532千円
当 期 純 利 益	10,546千円	4,707千円	2,321千円	6,277千円
1株当り当期純利益	25円98銭	11円59銭	5円71銭	15円46銭
総 資 産	761,194千円	815,217千円	752,953千円	733,543千円

(4) 使用人の状況

従業員数 社員 4 名（男子2名、女子2名）、パートタイマー 2 名

2 株式に関する事項

(1) 発行する株式の総数 500,000株

(2) 発行済株式の総数 406,000株

(3) 当期末株主数 5 名

株 主	株 主 名	持 株 数	株 式 割 合
	札幌市	204,000 株	50.25 %
	札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
	北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
	(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
	はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
	計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する事項 (平成22年3月31日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	生島 典明
専務取締役	鴫田 義明
取 締 役	渡辺 彰裕
取 締 役	綱木 孝夫
取 締 役	村田 長市
取 締 役	山田 紀雄
取 締 役	佐藤 亮二
取 締 役	田嶋 久嗣
監 査 役	宮原 龍次
監 査 役	木村 雅樹

以上、平成21年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしました。今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。事業報告といたします。

平成22年6月18日

株式会社札幌花き地方卸売市場  
代表取締役社長 生島 典明

## 貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 191,291,173 】	【流動負債】	【 141,527,718 】
現金	80,000	未払金	9,230,151
預金	179,012,868	未払法人税等	1,052,500
前払費用	1,845,263	未払消費税	2,644,900
未収入金	10,363,405	預り金	157,970
貸倒引当金	10,363	精算代金預り金	126,663,151
		賞与引当金	1,779,046
【固定資産】	【 542,252,330 】	【固定負債】	【 48,129,232 】
(有形固定資産)	( 439,996,419 )	長期借入金	0
建物	208,152,692	預り保証金	41,490,000
構築物	8,433,947	退職給与引当金	6,639,232
工具器具備品	1,663,780		
土地	221,746,000	負債合計	189,656,950
(無形固定資産)	( 248,311 )		
電話加入権	248,311		
		純資産の部	
		科目	金額
(投資その他の資産)	( 102,007,600 )	【株主資本】	【 543,886,553 】
投資有価証券	50,000,000	資本金	470,000,000
保険積立金	17,600	(利益剰余金)	( 73,886,553 )
取引保証積立金	36,990,000	その他利益剰余金	73,886,553
修繕積立金	15,000,000	別途積立金	40,000,000
		繰越利益剰余金	33,886,553
		純資産合計	543,886,553
資産合計	733,543,503	負債・純資産合計	733,543,503

## 損 益 計 算 書

自平成21年4月1日

至平成22年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
<b>【 売 上 高 】</b>		
施設賃貸収入	105,109,448	
売上高割使用料	49,633,711	
面積割使用料	38,583,581	
関連店舗使用料	16,892,156	
精算業務収入	25,612,747	
駐車管理収入	2,810,000	133,532,195
売上総利益金額		133,532,195
<b>【 販売費および一般管理費 】</b>		133,075,368
営業利益金額		456,827
<b>【 営 業 外 収 益 】</b>		
受取利息	359,120	
雑収入	2,610,543	2,969,663
<b>【 営 業 外 費 用 】</b>		
支払利息割引料	216,562	
賞与引当金繰入	1,779,046	1,995,608
経常利益金額		1,430,882
<b>【 特 別 利 益 】</b>		
貸倒引当金戻入益	9,490	
賞与引当金戻入	2,298,493	
退職給与引当金戻入	4,013,550	6,321,533
<b>【 特 別 損 失 】</b>		
固定資産除却損	4,489	4,489
税引前当期純利益		7,747,926
法人税、住民税及び事業税		1,470,900
当期純利益		6,277,026

## 株主資本等変動計算書

自平成21年4月1日

至平成22年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本			株主資本合計	純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金			
		その他利益剰余金			
	別途積立金	繰越利益剰余金			
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	27,609,527	537,609,527	537,609,527
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		0	
当期純利益			6,277,026	6,277,026	6,277,026
当期変動額合計	-	0	6,277,026	6,277,026	6,277,026
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	33,886,553	543,886,553	543,886,553

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場

代表取締役社長 生島 典明

## 個別注記事項

- 1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項
  - (1) 棚卸資産の棚卸方法および評価基準  
棚卸方法 ----- 実地棚卸  
評価基準 ----- 最終仕入原価法
  - (2) 有形固定資産の減価償却方法  
法人税法の規定による定率法によっております。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。
  - (3) 無形固定資産の減価償却方法  
定額法を採用しております。
  - (4) 有形固定資産の減価償却累計額 618,185,204 円
  - (5) 引当金の計上基準  
貸倒引当金  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。  
退職給与引当金  
従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。
  - (6) 1株当りの当期利益 15円46銭
  - (7) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
  - (8) 消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっている。また、その経理処理は税込方式としております。
- 3 株主資本等変動計算書に関する注記
  - (1) 当該事業年度の末日における発行済み株式の総数 406,000株
  - (2) 配当に関する事項  
当期中における配当金の支払いはありません。
  - (3) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの  
配当金の支払い予定はありません。